



講師

五十嵐 達也

文京学院大学

司会：佐藤 剛介（奈良県総合医療センター）

要旨

標準化された評価手法の活用は、質の高い患者中心型理学療法を推進するうえで不可欠であり、異なる介入方法の効果比較や施設間でのデータ統合を可能にする。評価尺度は、目標設定や効果判定、患者との情報共有に重要な役割を担う。優れた評価尺度にはいくつかの特性が求められるが、とりわけカットオフ値や意義のある最小変化量(MIC)は、予後予測や理学療法の効果判定を支える有用な指標となり得る。本講演では、神経理学療法領域における目標設定や介入効果の判定を促進するため、我々が解明してきたカットオフ値や MIC の研究成果を紹介し、臨床応用と発展に寄与することを目的とする。

略歴

2010 年 沼田脳神経外科循環器科病院リハビリテーション部門理学療法課

2015 年 沼田脳神経外科循環器科病院リハビリテーション部門理学療法課 主任

2010 年 群馬大学大学院保健学研究科 博士前期課程 修了(保健学)

2023 年 沼田脳神経外科循環器科病院リハビリテーション課 主任

群馬大学大学院保健学研究科 博士後期課程 修了(保健学)

2024 年 文京学院大学保健医療技術学部理学療法学科 助教(現在に至る)

2025 年 目白大学耳科学研究所クリニック 客員研究員(現在に至る)

<学会活動>

一般社団法人 日本神経理学療法学会 戦略的課題解決委員会(姿勢バランス障害班), 一般社団法人 日本神経理学療法学会 埼玉地方会(学術・企画局), 一般社団法人 日本前庭理学療法学会 理事

業績

1. Tatsuya Igarashi, Yuta Tani, Hironobu Kakima, et al. Identifying fall risk within 6 months post-discharge through balance tasks analysis in inpatients with subacute stroke: Prospective cohort study. NeuroRehabilitation, 2025 (Online ahead of print).
2. Tatsuya Igarashi, Yuta Tani, Ren Takeda, et al. Accelerometer-based gait characteristics and their discrimination of gait independence in inpatients with subacute stroke. Gait & Posture 110, 138-143, 2024.
3. Tatsuya Igarashi, Yuta Tani, Ren Takeda, et al. Minimal detectable change in inertial measurement unit-based trunk acceleration indices during gait in inpatients with subacute stroke. Scientific Reports 13, 19262, 2023.